

卒後2年目の卒業生に対するアンケート調査 概要報告

【目的】

本調査は、本学での教育の成果や効果を検証することにより教育の改善につなげていくことを目的とし、卒業して2年目の卒業生に対して毎年アンケート調査を実施する。

【対象】

令和5年度に仙台大学体育学部を卒業した601名

【方法】

在学中に大学から付与していたGoogleメールへの依頼と、本学に在職中（新助手、臨時職員）の該当年度卒業生から学科単位等でのコミュニティツール（グループLINE等）を利用して依頼を行った。回答はGoogleフォームから行い、対象者601名のうち63名から回答（回答率10.5%）を得ることができた。

【期間】

令和7年8月19日（火）～9月1日（月）

【結果】

問1. 性別

項 目	1.男	2.女
回答数	44	19
割 合	69.8%	30.2%

問2. 卒業した学科

学 科	1.体育	2.健康福祉	3.スポーツ栄養	4.スポーツ情報 マスメディア	5.現代武道	6.子ども 運動教育
回答数	31	10	6	2	7	7
割 合	49.2%	15.9%	9.5%	3.2%	11.1%	11.1%

問3. 現在の職業

項 目	教育機関	公務員・ 公的施設	スポーツ関連の 企業等	一般企業	その他	合計
回答数	20	8	4	19		
割 合	31.7%	12.7%	6.3%	30.2%		
項 目	医療・福祉系	栄養系	保育系	自営業	4	63
回答数	2	2	3	1		
割 合	3.2%	3.2%	4.8%	1.6%		

問4. 本学の教育内容はいかがでしたか

項 目	1.満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.やや不満である	5.不満である	合計
回答数	27	26	9	0	1	63
割 合	42.9%	41.3%	14.3%	0.0%	1.6%	100%

分析結果：本学の教育内容に関しては、令和6年度では、「満足している」「やや満足している」の肯定的評価が72.0%、「不満である」「やや不満である」の否定的評価が6.0%、「どちらともいえない」が22.0%であった。令和7年度のデータを見ると、肯定的評価が84.2%に上昇し、否定的評価が1.6%に減少。「どちらともいえない」は14.3%に減少している。この変化は、教育内容に対する全体的な満足度の向上を示唆している。特に「満足している」の割合が14.9ポイント上昇していることは、大学の教育改善努力が実を結んでいることを示している。

問5. 本学の施設、設備は充実していましたか

項 目	1.充実している	2.やや充実している	3.どちらともいえない	4.やや不足である	5.不足である	合計
回答数	36	15	9	3	0	63
割 合	57.1%	23.8%	14.3%	4.8%	0.0%	100%

分析結果：本学の施設、設備の充実度については、令和6年度の分析結果では、「充実している」「やや充実している」の肯定的評価が78.0%、「やや不足である」「不足である」の否定的評価が10.0%、「どちらともいえない」が12.0%であった。

令和7年度のデータでは、肯定的評価が80.9%に上昇し、否定的評価が4.8%に減少、「どちらともいえない」は14.3%と微増している。この変化は、施設・設備に対する満足度の大幅な向上を示している。特に「充実している」の割合が23.1ポイント増加し、否定的評価が半減していることは、大学が施設・設備の改善に積極的に取り組んだ結果と考えられる。「どちらともいえない」の回答の増加は、施設・設備に対する学生の評価基準や期待が多様化している可能性を示唆している。

問6. 本学の就職活動支援はいかがでしたか

項 目	1.満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.やや不満である	5.不満である	合計
回答数	24	16	16	7	0	63
割 合	38.1%	25.4%	25.4%	11.1%	0.0%	100%

分析結果：本学の就職活動支援について令和6年度の分析結果では、「満足している」「やや満足している」の肯定的評価が38.0%、「やや不満である」「不満である」の否定的評価が14.0%、「どちらともいえない」が48.0%であった。令和7年度のデータでは、肯定的評価が63.5%と大幅に上昇、否定的評価が11.1%に微減し、「どちらともいえない」は25.4%に減少している。特に「不満である」の回答が昨年の4.0%から0%になったことは本学の就職支援が学生の要望とマッチしていることをうかがい知ることができる。

問7. 本学で学んだ知識や経験は現在の職場で活かされていますか

項 目	1.活かされている	2.やや活かされている	3.どちらともいえない	4.あまり活かされていない	5.活かされていない	合計
回答数	29	18	11	3	2	63
割 合	46.0%	28.6%	17.5%	4.8%	3.2%	100%

分析結果：本学で学んだことが職場で生かされているかについて令和6年度の分析結果では、「活かされている」「やや活かされている」の肯定的評価は76.0%、「あまり活かされていない」「活かされていない」の否定的評価は14.0%、「どちらともいえない」が10.0%であった。令和7年度のデータでは肯定的評価が74.6%に微減しているが、「活かされている」との回答だけ見ると8ポイント増加している。否定的評価は8.0%と大幅に減少し、「どちらともいえない」が17.5%と増加する結果となった。以上のことから本学の実学を念頭にいた教育が就職と直結して活かされているものといえる。

問8. 仙台大学を卒業していかがでしたか

項 目	1.満足している	2.やや満足している	3.どちらともいえない	4.やや不満である	5.不満である	合計
回答数	35	21	5	2	0	63
割 合	55.6%	33.3%	7.9%	3.2%	0.0%	100%

分析結果：本学を卒業したことについて、令和6年度の分析では「満足している」「やや満足している」の肯定的評価は82.0%、「やや不満である」「不満である」の否定的評価は6.0%、「どちらともいえない」が12.0%であった。令和7年度のデータでは肯定的評価が88.9%と増加、否定的評価が3.2%に減少、「どちらともいえない」が7.9%であった。本学の卒業生としての自覚を高く持って卒業している層が多いことが明らかとなっている。なお、「不満である」との回答は2年連続でゼロ回答であった。

問9. 本学は、体育・スポーツ及び健康分野を通して、グローバル化の視点に立った教育に重点を置いています。また、教養を供え、人間性豊かな行動規範を培い、専門的知見・技術を身につけた人材を養成することを目的にもしております。卒業時にその力が身についたと思いますか

項 目	1.身についた	2.やや身についた	3.どちらともいえない	4.あまり身につかなかった	5.身につかなかった	合計
回答数	29	27	7	0	0	63
割 合	46.0%	42.9%	11.1%	0.0%	0.0%	100%

分析結果：本学での人材養成については、令和6年度の分析結果では「身についた」「やや身についた」の肯定的評価は74.0%、「あまり身につかなかった」「身につかなかった」の否定的評価は8.0%、「どちらともいえない」が18.0%であった。

令和7年度のデータでは肯定的評価が88.9%と増加、否定的評価の回答は皆無で、「どちらともいえない」は11.1%という結果であった。この結果は本学の教育の成果が表れているものであり、今後さらに学生に対して学修成果を身に付けさせる人材育成の努力を継続していくことが重要である。